

日本一美しい山のトイレ休憩所を目指して

— 石鎚山公衆トイレ休憩所維持管理スタッフの合言葉 —

●暖冬傾向の今季、富士山に農作業開始の目安の「農鳥」と呼ばれる雪形が現れ、地元の人たちが困惑しています—こんなニュースがあったりしました。

石鎚山系でも記録的な寒波の北海道と対比しながら「今年の冬はどうなっているんだ」と言い合いながら、もう本格的な春がやってきました。

●ふもとから見る石鎚山系も瓶ヶ森や笹ヶ峰の笹原が埋もれた白い山々を見る日がごく限られ、石鎚の谷に残る白い縦縞が目立つようになっています。

登山の視点から見ると、今から雪が解けるまでは「最も危険な時期」となります。足元の雪が解けたり凍ったり。二ノ鎖の休憩所は登山の拠点として活躍しています。

●冬期維持管理のスタッフは、休憩所や携帯トイレブースにスムーズに入れるように小屋前の雪や氷の除去をしています。休憩所やトイレブースの中の掃除や備品の補充も大切です。石鎚山に入ると冬期は設備の配管などが凍結しトイレが使えません。ザックの中に携帯トイレを入れての登山をお願いします。携帯トイレはアウトドアショップなどで販売されているほか、石鎚登山ロープウェイの窓口にも置いています。

●「石鎚山は通年携帯トイレ持参の山」のトレンディーな山！になることを願っています。(スタッフ：渡辺)



H30年度
冬期

石鎚山公衆トイレ休憩所報告

～維持管理の現場から～



積雪量が少ない今年の冬でも「二ノ鎖」から山頂にかけては、しっかりとした冬山装備でないと難しい登山となっています。積雪はもちろん、その下は氷になっている上に、急傾斜の地形だからです。

山頂手前の階段は雪に埋もれ、時として氷となりサラサラの新雪や霧氷のカケラに覆われ、急斜面の足元に緊張感が増します。また夏道がわからなくなり、歩行技術やルートファインディングの能力も必要になります。高山ならではの気象条件も加わりますから、二ノ鎖元での休憩所の役割は大きいものがあります。体制の立て直し・体力回復・行動判断の基点となることを考え、休憩所が普通に使えるように小屋前の除雪・除氷をしています。一般登山者にも使っていただけるようスコップも備え付けてあります。

●休憩所前アイゼン脱着のお願い
休憩所ドアに「脱アイゼン」のお願いの貼り紙があります。床はもちろんアルミレールなどが傷みますので、面倒ですが脱アイゼンでの入室をお願いしています。



●冬期石鎚山公衆トイレ休憩所事情

冬期(11月中旬～4月)石鎚山公衆トイレは、配管の凍結などにより使用できなくなります。石鎚山には冬季でも多くの登山者が訪れますが、山中にトイレがありません。登山口で済ませることを呼び掛けていますが、一日中過ごすことも難しいので、その場合は携帯トイレを使いましょう。

携帯トイレブースの中の簡易テントを取り払って、トイレブースを広く使えるようにしました。携帯トイレを忘れた場合も、ブース内で購入できます(1個500円)。持ち帰りロープウェイ下谷駅トイレ前の回収BOXに捨てましょう。



●携帯トイレブース内部

- 避難小屋外階段
- 休憩所利用時 小屋前の雪を除去するためのスコップ
- 携帯トイレブース入口



石鎚山環境保全応援団 申し込み

石鎚山の自然環境と一緒に守っていただける応援団(団体・個人)を随時募集中
(ご寄付頂いた各社の名を休憩所の壁に貼らせていただいています)

石鎚山クリーンアップ協議会事務局

(西条市観光振興課 担当:柳原/越智)

TEL 0897-52-1690

MAIL kanko@saijo-city.jp

